

2014年1月1日
41号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確立し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

【2013年度品質目標】

- ・データセンタを有効活用するーデータから情報へ、個人知から組織知へー・BCMS (ISO22301) の認証を得る
- ・ICUを円滑稼働する・外来予約制と救急医療を推進する・24時間訪問看護ステーションを円滑稼働する・初期・後期研修制度の更なる充実を図る・TQC活動の更なる深化を図る・持続成長可能な病院運営をする

新年のご挨拶

院長 永井庸次



新年明けましておめでとうございます。皆様方も清々しい新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。当院は本年度、リニューアルしたひたちなか総合病院として4年目を迎えます。これもひとえに皆様方の絶えざるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。次第です。

本年は6名の初期研修医の採用、リウマチ膠原病センター医師の増員、放射線治療専門医である東京女子医大三橋教授の4月赴任を含め、後期研修医や筑波大学社会連携講座も順調に推移するものと思っております。入院患者は302床中265床（88%稼働）、外来患者は650名前後の予定です。

本年は4月に診療報酬改定があり、当院でも色々と準備中です。今回の改定では2つ課題があります。1つ目は急性期病床の削減です。現在の急性期用ベッドを今後30%前後削減する計画があります。当院は回復期リハビリベッドが50床、感染症ベッドが2床あり、残り250床が急性期用ベッドですが、この地域は急性期を担う病院が少ないことから是非この急性期病床を確保していきたいと思っています。そのためには水戸地区の大病院との連携の他、がん患者の手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアが重要です。来年度はがん診療連携拠点病院を申請予定ですが、内視鏡手術、化学療法・放射線治療・緩和ケアの充実を一層図っていききたいと思います。

2つ目は急性期から回復期～療養期～在宅期（地域包

括ケア）の一貫性ある医療提供です。そのためには回復期リハビリの一層の充実と在宅医療に向けた24時間訪問看護の充実が重要です。しかし、すぐにはいきませんが、当院でも在宅患者の急変時や軽～中規模の救急対応の地域包括ケア病床が今後必要ではないかと考えております。

昨年は大規模災害発生時にも事業継続が可能な計画（BCP）の国際マネジメントシステムであるBCMS（ISO22301）を国内病院で最初の認証を受けました。新型インフルエンザのパンデミック対策にも有用で、1月には大規模演習を実施する予定です。ISO22301では予め事故の発生を予想して演習などで対策を立案しておくことが要求されますので、今後活用が期待できると考えております。

また、2月には訪問看護ステーションでの電子カルテ導入、3月には病院データと健診データとの統合、さらに、それらを踏まえた病院情報システムのデータベース化を考えております。医師を含めて職員に喜ばれる医療情報の提供は、言い換えれば皆様方にも喜ばれ満足していただける医療提供の仕組みが構築できると確信しております。

なお、日立製作所は職員の業務を徹底的に見直し、業務を改善していくスマートトランスフォーメーションプロジェクト（スマトラ）を現在推進しております。当院でも看護部を筆頭に各職場で医療のスマトラを推進中です。業務改善により残業時間も減少し定時に帰宅できる仕組みを是非確立したいと思っておりますが、限りあるスペースにはスキルの向上・多重化が必須です。本年は、このことを今一度職員に考えてもらおうと思っています。

最後に、本年一年の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
				①	②	③	④								①									
1	⑤	6	7	8	9	10	⑪	2	⑫	13	14	15	16	17	⑱	3	⑫	13	14	15	16	17	18	⑲
月	⑲	20	21	22	23	24	⑳	月	⑲	20	21	22	23	24	㉑	月	⑲	20	21	22	23	24	25	㉒
	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙		㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙		㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

ISO22301 認証取得

当院は、大地震や新型インフルエンザパンデミックなどが発生した場合においても医療サービスを提供していくために、事業継続マネジメントシステム（BCMS）を導入し、この度、2013年12月20日付でBCMSに関する要求事項を定めたISO22301の認証を取得しました。

本規格の認証取得は、国内の病院では最初となります。今後も、地域の皆様方に質の高い医療を提供していきけるよう、全職員一丸となって邁進してまいります。



冬のスキンケア

総合健診センター 医師 菅谷 文彦

寒い日が続いています。毎年この時期になると皮膚が白くかさかさし、かゆくなる方はおられません。これは皮膚の乾燥によって起こる症状です。皮膚は外界の環境の変化を受けやすく、冬の低温や乾燥は皮膚のバリア機能を低下させ、刺激を受けやすくなります。その結果ちょっとしたことでかゆくなり、掻き壊して湿疹ができたりします。そうなる前に皮膚の手入れをして、しっとりとしたよい状態を保つことが大切です。

入浴は皮膚に水分を与えることができ、とても有効ですが、熱すぎる湯は皮膚への刺激となり、症状が増すこともあります。湯の温度に注意しましょう。また、体を洗う時にタオルで皮膚を強くこすると、皮膚にきずができる原因となります。石けんをよく泡立てて手のひらにつけ、なでるように泡で優しく洗い、その後は石けんが残らないよう、よく洗い流して下さい。入浴後は皮膚が乾いてしまう前に保湿外用剤を塗ることをお勧めします。入浴後5分以内に塗るのが望ましいです。保湿剤には色々な種類がありますが、使い心地が良くしっとりした感じが長持ちするものを選んで下さい。市販の製品にも良いものがたくさんあります。力を入れて強くすりこむのは避け、少し多いくらいの量を、やさしく手のひらでのばすように塗りましょう。

そのほか、暖房で乾燥しすぎることのないよう部屋の湿度に注意し、また、刺激の強い衣類、食事を避けることも大切です。部屋の相対湿度は50~60%が理想と言われています。部屋の湿度に注意することはインフルエンザの予防にもなります。このようにご注意ください。また、皮膚のかさかさがよくなり、かゆみが強くつらいときは、お近くの皮膚科を受診されることをお勧めします。

採用・退職医師の紹介

診療科	氏名	異動日
臨床研修医	松村 えりか	採用 (2013. 12. 1)
	柳原 隆宏	退職 (2014. 1. 5)
	河村 季生	退職 (2014. 1. 5)
	柳下 瑞希	採用 (2014. 1. 6)
	清水 達也	採用 (2014. 1. 6)

「糖尿病教室」のご案内

当院の糖尿病教室は、内科 大西医師を中心とした院内の専門スタッフで構成されたチームにより患者さんが必要としている知識や情報をお届けできるように活動しております。今回は看護師による便秘の話の新規内容として予定しました。どうぞご活用下さい。

■主な学習内容 (担当スタッフ)

病態 (医師)、フットケア・セルフカウンセリング (看護師)、生活習慣・体重管理 (保健師)、薬物療法 (薬剤師)、運動療法 (理学療法士)、検査項目・自己測定 (臨床検査技師)、口腔ケア (歯科衛生士)、食事療法 (管理栄養士)

■次回の糖尿病教室開催日

開催日	時間	内容 (担当スタッフ)
2月4日 (火)	13:00~13:30	病態講話 (大西医師)
	13:30~14:10	薬物療法 (薬剤師)
	14:10~14:30	便秘の話 (看護師)
	14:30~15:00	体重管理 (保健師)

当日の予定表は、内科外来の患者さんへ診察時に配布しております。日時等をご確認のうえお申込み下さい。

■参加対象者

当院へ通院中の糖尿病患者さんとそのご家族。

■お問合せ先

参加方法、学習内容等、下記へお気軽にお問い合わせ下さい。

ひたちなか総合病院栄養室 (直通) 029-354-6349

患者さん満足度結果が まとまりました

地域の皆様が満足される病院を目指し、外来患者さんアンケートを実施しました。実施は2013年8月29日と30日の2日間で、560名の回答をいただきました。

また、病棟においては、退院患者さんを対象に2013年10月の1ヶ月間アンケートを実施し、176名の回答をいただきました。総合的な印象の設問結果を下図に示します。今回の調査結果をもとに、よりよい病院となるよう努めてまいります。

